

## 【「2021学生企画プロジェクト」 成果報告】

企 画：講演会「地球資源会議『ゴミ問題』について考えよう」  
オンラインZOOM

団 体 名：学生団体Lucharis（ルカリス）

代 表：石垣流香、松本ひかり

メンバー：喜瀬晴香、鈴木和音、旭佑季、板松汐音、中村渚、  
藤原アンジュ、アズラム ファティマ、小泉萌、白濱崇大

### 1. 企画背景

ペットボトルのポイ捨て問題を知り、解決のために何か行動したい！と思ったことをきっかけに立ち上がった学生団体Lucharisは、身近な社会問題や地球規模課題を知り、行動に結びつけることを目標としている。今回、オンラインイベントを企画し、環境問題・ゴミ問題に興味関心を持っているが、なかなか行動に起こせない、何から始めたらいいのか分からない、という神奈川大学の学生や一般の人々に向けた講演会を実施。そのような課題解決に向けて現在活動をしているゲスト講師3組をお呼びし、大学教授、NPO法人、企業という様々な立場からの考え方や取り組みをお話いただき、それを聞き自分たちに何ができるか考える場を創りたいと思った。



## 2. 企画概要

ねらい：学生や一般人の環境問題への意識を高め、実践にうつすきっかけを与える

日時：2021年10月23日（土）  
14:00～17:00

場所：オンラインZOOM

ゲストスピーカー：

### ○豊田直之さん

冒険研究者、環境活動家。東京水産大学（現・東京海洋大学）水産学部卒。漁師、ダイビングインストラクター等を経て、2012年、NPO法人海の森・山の森事務局を設立。環境保護活動が評価され、2019年に横浜環境大臣賞・大賞を受賞。子どもと海洋プラスチックについて考える活動を実施、2021年6月に環境大臣賞を受賞している。

### ○パタゴニア横浜・関内ストア

アウトドアスポーツを楽しむ、自然環境を守るために行動を起こすパタゴニアの直営店として1999年4月にオープン。環境フットプリントを削減するために古材やローカルの材料を使い、開港の街・横浜らしい温かみ溢れた心地よい空間のお店には、環境コーナーが設置され、気候危機や地域の環境問題、環境に配慮したライフスタイルの提案など様々な情報を発信している。

### ○松本安生教授

神奈川大学人間科学部・人間科学科教授。環境問題における効果的なコミュニケーション手法の確立を目指し、環境政策・住民参加について研究している。ごみの分別や省エネなど市民の環境に配慮した行動を対象に、その心理的な規定因を明らかにし、科学的コミュニケーションの側面から働きかけることで、市民の環境問題解決に向けた行動変容を促す、介入研究などを行っている。

学生団体 LUCCHARIS PRESENTS

# 地球資源会議

～気候危機を止めるために今アナタができること～

プラスチック排出国世界第2位の日本。  
SDGやエンカへの関心が高まっているけれど、実際に環境問題は解決に向かっている？  
地球資源会議は最近よく聞かれないけど問題をテーマに、  
企業やNPO、学生の立場から思考を深め対話を行います。

～ゲスト講師紹介～

**【日時】10月23日（土）  
14:00-17:00 (ZOOM開催)**  
定員：100名(誰でも参加可能)  
受講費：無料  
主催：学生団体 Lucharis  
後援：神奈川大学国際経営学会

**豊田直之（とよだ なおゆき）**  
冒険研究者、環境活動家。2012年、海の森・山の森事務局を設立。環境保護活動が評価され、2019年に横浜環境大臣賞・大賞を受賞。子どもと海洋プラスチックについて考える活動を実施、2021年6月に環境大臣賞を受賞している。

**松本安生（まつもと やすお）**  
神奈川大学人間科学部・人間科学科教授。環境問題における効果的なコミュニケーション手法の確立を目指し、環境政策・住民参加について研究している。ごみの分別や省エネなど市民の環境に配慮した行動を対象に、その心理的な規定因を明らかにし、科学的コミュニケーションの側面から働きかけることで、市民の環境問題解決に向けた行動変容を促す、介入研究などを行っている。

申し込みフォームはこちらから

Lucharis (ルカリス) プロフィール

〒104-8587 神奈川県横浜市中区関内1-1-1 関内ビル10F  
TEL: 045-261-2111 FAX: 045-261-2112  
E-MAIL: lucharis@lucharis.com

講演会チラシ

- 当日の流れ：14:00 開始 学生団体Lucharisの紹介  
 14:10 ゲスト一人目  
 NPO法人海の森・山の森事務局理事長 豊田直之さま  
 15:00 質問や感想の共有  
 15:10 ゲスト二人目  
 パタゴニア横浜・関内店 安田さま、秋山さま  
 15:40 質問や感想の共有  
 15:50 休憩  
 16:00 ゲスト三人目 神奈川大学人間科学部 松本安生教授  
 16:20 対談 ゲスト講師4名でのフリーディスカッション  
 16:35 ブレックアウトセッション 参加者が感想の共有や課題解決のためにすべきことをディスカッションする  
 16:50 まとめ グループで話したことや提案を全体と共有  
 17:00 終了

講演内容：それぞれのゲスト講師がどのように環境問題やゴミ問題、SDGs課題に関わり、その解決に向けてどんな取り組みをしているか講演していただいた。



○NPO法人海の森・山の森 豊田さん

はじめに豊田さんご自身が撮影した美しいサンゴ礁の写真をを見せていただいた。しかし、現状ではゴミがサンゴに絡まって死んでしまうことや、海底には多くのゴミが沈んでしまっている。他方、ドイツの川ではペットボトルやレジ袋はほとんど存在しない。デポジット制で、使用済みのペットボトルをお金に還元できるシステムなどがあり、環境に配慮した工夫がなされている。

世界で毎年800万トンのプラスチックゴミが海に捨てられており、プラスチックが細かく砕けたマイクロプラスチックに石油からできた有害物質が吸い付き、それを魚が食べ、私たちの口にも運ばれている。私たちがしたことが必ず私たちのもとに戻ってくるのである。

みんなができる活動として、毎月15日（ごみ3…5×3=15）全国ごみ拾いの日に、拾ったゴミと自分の足元の写真を撮って「#あしもとから」をつけてSNSで投稿する。誰でも気軽に取り組めるので、ぜひ皆さんも一緒に取り組もう。

○パタゴニア横浜・関内ストア 安田さん、秋山さん

パタゴニア横浜・関内ストアで行われている「Zero Waste（ゼロウェイスト）」の活動についてご講演いただいた。Zero Wasteとは、ゴミを出さない・ゴミにしない（リサイクルする）という活動モデルである。ゴミ問題に関心を持った一人のスタッフの働きかけがきっかけで、様々なZero Waste活動が始まった。出たゴミの点検、備品の見直し、備品に値段を記載・置き場所の確定（最後まで備品を使えるように）、消耗品（レシートなど）の梱包の見直し・不要な部分（レシートロールを一つ一つ包んでいたビニール袋など）の廃止、また日本支社全体でレジ袋の廃止など。

大切なことは、一人ひとりが楽しみながらZero Wasteを学び、実践していくこと。それは豊かなライフスタイルを育むことにもつながる。

○神奈川大学人間科学部教授 松本安生先生

「環境配慮行動モデル」についてご講演いただいた。環境配慮行動モデルとは、人が環境に配慮した行動をなぜするのか、なぜしないのかを、人間の心理、行動の面から「集合的防護動機モデル」、「環境配慮的行動と規

定因との要員連関モデル」、「心理プロセスモデル」の三つのモデルに分類したものである。大学生を対象にアンケートを取った結果、6割近くがこのモデルに当てはまることがわかった。また、国籍によっても環境への配慮の度合いに違いがあり、環境配慮行動に関連する要因には、性別や年齢、国籍、社会関係資本などの社会的環境、価値観など様々なものがある。環境配慮モデルを知ることは、どうすれば人々に、環境問題に取り組んでもらうことができるのかを考える上で、非常に重要である。また、このような要因を踏まえたうえで、自分や自分のまわりの人たちとどのようなことができるのか考えてほしい。

### 3. 活動成果

このオンライン講演会は、Lucharisにとって初の大きなイベントであり、企画をするところから、講演者の選定・依頼・打合せ、宣伝チラシの作成、SNS等での集客、機器の準備等、当日の運営までメンバーのみんなと協力し、成し遂げることができた。

講演会イベントには約40名の申し込みをいただき、当日は25名程度の方がリアルタイムで参加してくれた。イベント参加者からLucharisの運営に対して、「初めてとは思えないくらいスムーズな進行だった」というお褒めの言葉をいただき、講演内容についても「環境問題を自分事として考えるきっかけになった」「身近な取り組みが聞けて役立った」との声もいただけて、目的である実践のきっかけをつくるということの達成ができ、嬉しく感じた。グループディスカッションの時間では、参加者同士で意見交換ができ、自分が日ごろから行っている取り組みを伝えたり、他の人の考え方や活動を聞いたりし、モチベーションの向上を図れたと思う。一方で、「素晴らしい三組のゲストのお話を聞く機会があり、参加者とも交流できるイベントだったので、もっと多くの人に参加してほしい」という声もあった。今後に向けた反省として、Lucharisの知名度を上げ、より多くの人に興味を持ってもらえる魅力的な企画をする必要があると思った。

### 4. 今後の展開

Lucharisはまだ立ち上げて間もない学生団体だが、今回のイベントでたくさんの人に私たちのことを知ってもらえたと思う。今後、環境問題だけに限

らず、もっと広く社会問題や地球規模課題、メンバーの持つ問題意識の解決に向けて行動、イベント企画等をしていきたい。

月一のゴミ拾い活動や、定期的な社会問題系の学べる SNS 投稿の発信をしていくこと。現在は、NPO 法人アークシップさんの「まるごみ神奈川」という、ゴミ拾いを通じて多様な人々とのコミュニケーションをとり、街をクリーンにする活動に Lucharis としてコラボすること。2022 年後期には、学生と企業を橋渡しする企画を担当する予定。

私たち学生団体 Lucharis は、様々な社会問題に対して、メンバーのやりたいことをみんなで応援し、支え、実行する場所になりたい。

## 5. 謝辞

最後に今回の「地球資源会議」オンライン講演会イベントを開催するにあたり、「学生企画プロジェクト」を採択していただいた神奈川大学国際経営学会、協力していただいた職員の方々に厚く御礼を申し上げます。

